

【施策評価調査】

施策名	1-2-3	農道の整備		74	施策目的 道路評価システム(農道部門)に基づき整備し、農業の振興と農村環境の改善を図るとともに、生活道路としての機能の充実に努めます。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当	都市整備担当	リーダー	阿久津 径行
		リーダー			
環境変化					施策内容 道路評価システム(農道部門)に基づき整備し、農業の振興と農村環境の改善を図るとともに、生活道路としての機能の充実に努めます。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①: 農道舗装率(%)	平成16年度舗装率(防塵舗装含)	計画	21.2%	21.6%	22.2%	22.8%	23.4%
	20.2%	実績	→ 21.20%	↓ 21.5%	↑ 23.0%	↑ 23.00%	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	当初	15,500,000	17,600,000	14,450,000	15,000,000	
	決算	15,371,040	16,478,700	14,845,950	16,872,450	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①農道整備事業費	当初 15,000,000	延長	A	設計を委託して現地調査をした結果、当初計画よりも施工延長が大幅に伸び、農業の振興及び農村環境の改善に資することができた。			
	決算 16,872,450	1037m / 350m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	設計を委託して現地調査をした結果、当初計画よりも施工延長が大幅に伸び、農業効率性が改善され、また、生活道路としての機能が向上し、農村環境の改善を図れた。	平成22年度見直しの道路評価システムの評価順位により、計画的に整備を進めていく。
総合評価	継続的に施策展開されていると評価するが、後期計画に向け、住民意識調査の結果を踏まえつつ、道路行政全般のあり方を検討すること。そのためにも財政状況を勘案し、他施策との統合も視野に入れた真に必要な道路整備となるよう、よく検討すること。	